# 【資料編】

- 1. アンケート調査票
- (1) 福祉用具貸与事業所アンケート調査票

福祉用具貸与事業所管理者の方へ

管理者調査票

#### 福祉用具サービス計画書の活用と研修受講に関するアンケート

I. 貴事業所における福祉用具サービス計画書の活用状況についてお伺いします。

問1 貴事業所における福祉用具貸与サービスの2012年10月1日時点の利用者数について、最もよく当てはまるものを一つ選び、番号に○をつけてください。

1. 30 人未満	2. 30~99人	3. 100~199人	4. 200~299人	5. 300~399人	6. 400 人以上

問 2 貴事業所における福祉用具サービス計画書の作成状況として、(1)~(3)について、最もよく当てはまるものを<u>それぞれ一つずつ</u>選び、番号に〇をつけてください。

	9割	7~9割未	5~7割未	3~5割未	1~3割未	1割	未作成
	以上	満	満	満	満	未満	
(1) 計画書作成が必要な全利用者	1	2	3	4	5	6	7
(2012年10月1日までの貸与及び販売)※							
(2) 上記のうち、2012年4月以降に契約した新規利用者	1	2	3	4	5	6	7
(貸与及び販売)							
(3) 上記のうち、2012年3月以前に契約した継続利用者	1	2	3	4	5	6	7
(貸与)							

<sup>※9</sup>月末までに解約された利用者も含む。

#### <u>※以下は、問2の(1)で1~5のいずれかを選んだ方にお伺いします。6を選んだ方は問13にお進みください。</u>

問3 貴事業所では、福祉用具サービス計画書をいつ頃から作成していますか。当てはまるものを\_\_\_\_選び、番号に○をつけてください。なお、本設問における「福祉用具サービス計画書」とは、利用者の基本情報・福祉用具が必要な理由・福祉用具の利用目標・福祉用具の機種と選定理由、関係者間で共有すべき情報などを記載した事業所の独自書式を含みます。

1. 2009 年 3 月以前より作成開始	2. 2009年4月~2012年3月の間に作成開始(ふく	3. 2012 年 4 月以降に作成開始
(ふくせん様式発表前)	せん様式発表後、義務化前)	

※2009年4月に、全国福祉用具専門相談員協会「福祉用具サービス計画書記入様式(ふくせん様式)」が発表されました。

問 4 貴事業所では、一人の利用者の福祉用具サービス計画書を作成する際に、複数の福祉用具専門相談員で分担していますか。最もよく当てはまるものを一つ選び、番号に○をつけてください。分担とは、利用者宅を訪問した専門相談員と、計画書作成をする専門相談員を分けている場合や、計画書の欄によって、記載担当者を分けている場合を指します。

1. 原則として分担せず、1名で作成している 2. 複数の福祉用具専門相談員で分担して作成している	3. その他(	)
---	---------	---

問 5 貴事業所では、福祉用具サービス計画書に記載する情報を、主にどのような方法で収集していますか。最もよく当てはまるものを<u>一つ</u>選び、番号に〇をつけてください。

1. 利用者・家族を訪問して把	2. 利用者・家族への電話で	3. ケアプラン等の書面で	4. ケアマネジャーから	5. その他	
握する	把握する	把握する	把握する	(	)

問6 貴事業所では、福祉用具サービス計画書をどのようなツールを用いて作成していますか。当てはまるものを一つ選び、番号に○をつけてください。

1. 手書きで作成	2. ワードやエクセルで作成
3. 専用ソフト(文例登録・参照機能あり)で作成	4. 専用ソフト(文例登録・参照機能なし)で作成
※3,4をお選びの方は、ソフトウェアの開発/販売事業者名をご記入ください→(	)
5. その他(	)

問7 貴事業所では、福祉用具サービス 社用具専門相談員協会「福祉用具			まるものを <u>一つ</u> 選び、番号に○を・ を使用している事業所以外は、どの。			
るかをご記入ください。						
<ol> <li>ふくせん様式をそのまま使用</li> <li>ふくせん様式に一部項目を追加して</li> </ol>	( <del>-</del> H)					
(			)			
3. ふくせん様式から一部項目を削減して (	て使用		)			
4. 独自の様式を使用			,	\		
				)		
問8【問7で2~4のいずれかを選んだださい。(自由記述)	ご方にお伺いします】 貴事業所	<b>爪こおいて、「ふくせん様式」</b> を	を修正して使用、もしくは独自様式を	を使用している理由をご記入く		
問9 貴事業所では、福祉用具サービス をつけてください。	計画書を以下の事業者に渡して	いますか。(1)~(3)につい	て、最らよく当てはまるものを <u>それそ</u>	<u>"れ一つずつ</u> 選び、番号に〇		
(1) 介護支援専門員	1. 必ず渡している	2. 概ね渡している	3. あまり渡していない	4. 渡していない		
(2) 訪問介護事業者	1. 必ず渡している	2. 概ね渡している	3. あまり渡していない	4. 渡していない		
(3) 他の在宅サービス事業者	1. 必ず渡している	2. 概ね渡している	3. あまり渡していない	4. 渡していない		
問 10 貴事業所では、利用者・家族への けてください。	説明以外に、福祉用具サービ	ス計画書をどのような場面で溶	5用していますか。 当てはまるものを	<u>をすべて</u> 選び、番号に○をつ		
1. 介護支援専門員との情報共有			情報共有(訪問介護、訪問看護、C	OT•PT等)		
3. 事業所内での引き継ぎ・情報共有 5. 事故防止や事故発生時の要因分析		<ol> <li>サービス担当者会議での</li> <li>その他 (</li> </ol>	<sup>(2)</sup> 記明	)		
問11 貴事業所では、どの程度の頻度で	でモニタリングを実施しています	か。最もよく当てはまるものを	·一つ選び、番号に○をつけてくだ。	さい。		
1. 1ヶ月に1回程度	2. 2~3ヶ月に1回		3. 4~6ヶ月に1回程度	Ē		
4. 半年~1年間に1回程度	5. 1年間に1回末	満	6. 実施していない			
問12 貴事業所は、モニタリングの記録	を行う際に、どの様式を使用して	ていますか。当てはまるものを	·選び、番号に○をつけてくだ	さい。		
1. ふくせんが開発した「モニタリングシ	ート」(ふくせん様式)をそのま	ま使用				
2. ふくせん様式に一部項目を追加して	使用 		)			
a second						
3. ふくせん様式から一部項目を削減して (	で使用		)			
3. ふくせん様式から一部頃目を削減し。 ( 4. 独自の様式を使用	て使用		)			

# Ⅱ. 福祉用具サービス計画書に関する効果と問題点についてお伺いします。

問13 福祉用具サービス計画書を用いることで、どのような効果があると感じていらっしゃいますか。当てはまるものを<u>すべて</u>選び、番号に〇をつけてください。なお、 未作成の場合は、現時点で考えられる効果を選んでください。

1. 利用者や家族とのコミュニケーションが増えたように感じる
2. 利用者や家族のニーズや意向を把握しやすくなったように感じる
3. 利用者の身体状況や住宅環境に関する事項を確認しやすくなったように感じる
4. 福祉用具の選定根拠を説明しやすくなったように感じる
5. 福祉用具を活用して自分らしい生活を送ることに対する利用者の意欲が高まったように感じる
6. 利用者や家族に対して、使い方や利用上の留意点を説明しやすくなったように感じる
7. 他職種に対して、使い方や利用上の留意点を説明しやすくなったように感じる
8. 介護支援専門員とのコミュニケーションが取りやすくなったように感じる
9. 職場内において、引き継ぎや情報共有が行いやすくなったように感じる
10.モニタリング時に必要事項を確認しやすくなったように感じる
11.商品提案力等のスキルアップにつながったように感じる
12.その他( )
13.いずれの効果も感じていない
田 14 東市学記ァルルマ行り田日正 フジッジ示事ナロ、フ吹 ファトミン明時にはジャフトボケット・フェルナナル、アンルナス・アンルナス・アンド・アンド・アンド・アンド・アンド・アンド・アンド・アンド・アンド・アンド

問 14 貴事業所において福祉用具サービス計画書を用いる際、どのような問題点があると感じていらっしゃいますか。当てはまるものを<u>すべて</u>選び、番号に○をつけてください。なお、未作成の場合は、現時点で考えられる問題点を選んでください。

1. 記入作業の負担感が大きい					
2. 計画書の書き方に不安がある					
3. 利用者や家族に対して、計画書の意義があまり浸透しておらず、活用されていない					
4. 介護支援専門員や他職種に対して、計画書の意義があまり浸透しておらず、活用されていない					
5. 利用者や家族とのコミュニケーションがうまく取れず、作成に必要な情報を十分に収集できない					
6. 介護支援専門員からケアプラン等が共有されない					
7. 計画書の説明の仕方に不安がある					
8. 計画書の内容が不十分で使いにくい					
9. その他( )					
10.問題点は特にない					

### Ⅲ. 貴事業所における福祉用具専門相談員の研修の受講状況についてお伺いします。

問 15 貴事業所もくは貴法人は、従業員である福祉用具専門相談員に対する研修(法人内の複数事業所合同のものも含む)をどの程度実施していますか。最もよく当てはまるものを一つ選び、番号に○をつけてください。

1. 1ヶ月に1回以上	2. 2~3ヶ月に1回程度	3. 4~6ヶ月に1回程度
4. 半年~1年間に1回程度	5. 1年間に1回未満	6. 実施していない

問16【問15で1~5のいずれかを選んだ方にお伺いします】 貴事業所しくは貴法人における、福祉用具専門相談員に対する研修(法人内の複数事業所合同のものも含む)の内容として当てはまるものを<u>すべて</u>選び、番号に○をつけてください。

1.	福祉用具専門相談員の倫理と法令順守	2.	保健·医療·福祉の仕組み(介護保険制度等)
3.	介護に関する基礎知識および介護技術	4.	生活場面における福祉用具の利用
5.	福祉用具の操作方法	6.	福祉用具の選定相談(アセスメント)技術
7.	フィッティング技術	8.	コミュニケーション
9.	マナー・接遇	10.	最新の商品知識
11.	サービス計画書の理解・作成・運用	12.	医学の基礎知識(身体構造・疾病・リハビリテーション等)
13.	認知症への理解	14.	多職種の連携のあり方
15.	住環境に関する知識	16.	苦情・事故対応の方法
17.	虐待の防止と対応	18.	医療機器に関する知識
19.	その他(		)
20.	その他(		)

問 18 貴事業所もくは貴法人では、福祉用具専門相談員のスキルアップを支援するための取り組みを行っていますか。当てはまるものを <u>すべて</u> 選び、番号に〇を つけてください。							
1. 事業所全体の研修の計画的な実	<b>蓮施</b> 2.	個人別研修の計画的	な実施	3. 事例	検討		
4. 他法人の事業所と共同での教育	・研修等の実施 5.	メーカー等による商品	説明の機会の提供	6. その	他		
				(		)	
問 19 貴事業所にくは貴法人では、福祉用具専門相談員が外部の研修を受講する際に、何らかの支援を行っていますか。(1)~(4)について、最もよく当てはまるものを <u>それぞれ一つずつ</u> 選び、番号に○をつけてください。							
(1) 時間について	1. 業務扱いとしてい	3	2. 業務扱	いとしていない	()		
(2) 費用について	1. 全額を事業所で負	担 2	部を事業所で負担		3. 事業所からの費	骨用負担なし	
(3) 受講実績について	1. 実績を人事評価ご	反映している	2. 実績を	人事評価に反	映していない		
(4) 研修情報について	1. 研修情報を職員に	紹介している	2. 紹介は	行っていない	<b>.</b>		
IV. 貴事業所の事業概要に (以下については、各設問の選択肢の	の中から当てはまるものを				1		
問20 法人の種別	1. 株式会社	2. 有限会社	3. 社会福祉法	人 4.	特定非営利活動法人	5. その他	
問21 法人の福祉用具販売・レンタ ル等事業開始年	西暦 ( )4	F.					
問 22 法人の日本福祉用具供給協 会の所属状況	1. 所属している	2. 所属していない					
問 23 法人の福祉用具貸与サービ	1. 1カ所	2. 2カ所	3. 3~5 カ戸	近 4.	6~9カ所	5. 10 カ所以上	
ス事業所数	(貴事業所のみ)						
問24 事業所の所在地 (都道府県名)	( )	都•道•府•県					
問25 事業所の所在地 (市町村の人口規模)	1. 30 万人以上	2. 10 万人以上30	万 3.5万人以上	:10万 4.	1万人以上5万人未	5. 1万人未満	
		人未満	人未満		満		
問26 事業所の併設サービス	1. 特定福祉用具販売	2. 保険外用具販売・	3. 住宅改修	4.	居宅介護支援事業	5. 訪問介護	
		レンタル					
	6. 上記以外の在宅	7. 施設系サービス	8. その他(	8. その他(		)	
問 27 事業所におけるレンタル卸	サービス						
の使用状況	1. 使用なし(全て自社保有)	2.一部の商品で使り	用 3.全商品で使	3. 全商品で使用			
問28 事業所の従業員数	従業員数(	)人	;	福祉用具専門	· 相談員( )	人	
問 29 事業所の福祉用具専門相談 員の資格保有等の状況	福祉用具選定士	人( )人	人 介護支援専門員 ( )人				

問17 福祉用具専門相談員にとって、今後特に必要と思われる研修内容は何ですか。問16の選択肢の中から、最大3つまで選び、数字をご記入ください。

以上で、設問は終わりです。お忙しい中、ご協力いただきまして、まことにありがとうございました。 管理者調査票は、福祉用具専門相談員調査票と併せて、同封の返信用封筒(長3サイズ)に入れ、  $\underline{10\ J\ 31\ D(\pi)}$ までにご投函くださいませ。

)人

)人

福祉用具プランナー

福祉住環境ユーディネーター2級(

<本件に関するお問合せ先> (社)全国福祉用具専門相談員協会 事務局 小野崎、柳田、永井、楓 TEL 03-3443-0011(小野崎) FAX 03-3443-8800

その他[

訪問介護員養成研修2級修了(

)人

)人

福祉用具専門相談員の方へ

# 福祉用具サービス計画書の活用と研修受講に関するアンケート(福祉用具専門相談員)

#### I. 福祉用具サービス計画書について

問1 あなたは、2012 年 4~9 月の半年間に、何件程度の福祉用具サービス計画書を作成しましたか。新規・継続含めた累計件数について最もよく当てはまるものを 一つ選び、番号に○をつけてください。

1. 0件	2. 1~9件	3. 10~29件	4. 30~49件
5. 50~99件	6. 100~199件	7. 200~299件	8. 300 件以上

問2【問1で2~8のいずれかを選んだ方にお伺いします】あなたは、福祉用具サービス計画書を記入するのに、どのくらいの時間をかけていますか。一人の利用者のサービス計画書を新規で記入するのに要する平均的な時間について、最もよく当てはまるものを一つ選び、番号に〇をつけてください。

1. 15 分未満	2. 15 分以上30 分未満	3. 30 分以上1 時間未満	4. 1時間以上2時間未満
5. 2時間以上3時間未満	6. 3時間以上4時間未満	7. 4時間以上5時間未満	8. 5時間以上

問3 福祉用具サービス計画書を用いることで、どのような効果があると感じていらっしゃいますか。当てはまるものを<u>すべて</u>選び、番号に〇をつけてください。なお、 作成したことがない場合は、現時点で考えられる効果を選んでください。

14.利用者や家族とのコミュニケーションが増えたように感じる
15.利用者や家族のニーズや意向を把握しやすくなったように感じる
16.利用者の身体状況や住宅環境に関する事項を確認しやすくなったように感じる
17.福祉用具の選定根拠を説明しやすくなったように感じる
18.福祉用具を活用して自分らしい生活を送ることに対する利用者の意欲が高まったように感じる
19.利用者や家族に対して、使い方や利用上の留意点を説明しやすくなったように感じる
20.他職種に対して、使い方や利用上の留意点を説明しやすくなったように感じる
21.介護支援専門員とのコミュニケーションが取りやすくなったように感じる
22.職場内において、引き継ぎや情報共有が行いやすくなったように感じる
23.モニタリング時に必要事項を確認しやすくなったように感じる
24.商品提案力等のスキルアップにつながったように感じる
25.その他( )
26.いずれの効果も感じていない

問4 福祉用具サービス計画書を用いる際、どのような問題点があると感じていらっしゃいますか。当てはまるものを<u>すべて</u>選び、番号に〇をつけてください。なお、 作成したことがない場合は、現時点で考えられる課題を選んでください。

11.記入作業の負担感が大きい
12.計画書の書き方に不安がある
13.利用者や家族に対して、計画書の意義があまり浸透しておらず、活用されていない
14.介護支援専門員や他職種に対して、計画書の意義があまり浸透しておらず、活用されていない
15.利用者や家族とのコミュニケーションがうまく取れず、作成に必要な情報を十分に収集できない
16.介護支援専門員からケアプラン等が共有されない
17.計画書の説明の仕方に不安がある
18.計画書の内容が不十分で使いにくい
19.その他( )
20.問題点は特にない

# Ⅱ. 研修の受講状況についてお伺いします。

問 5 以下の表に示した研修・活動に参加したことがありますか。参加したことがある研修・活動として当てはまるものを<u>すべて</u>選び、「参加したことがある」の欄に〇をつけて、参加年を記入してください。また今後参加したい研修・活動として当てはまるものを<u>すべて</u>選び、「今後参加したい」の欄に〇をつけてください。

# 【留意点】

- ・長期間の研修に参加中の場合、「参加したことがある」に○をつけてください。ただし、途中離脱したものは除きます。
- ・参加年は、研修期間が複数年にまたがる場合、修了時点を記入してください。また複数回参加したことがある場合、直近の参加分について記入してください。

		参加した	参加したことがある		
	研修及び活動項目(カッコ内は主な実施機関)		参加年	参加	
【研修	こついて】		(西暦)	したい	
(1)	福祉用具供給事業従事者現任研修(シルバーサービス振興会)		年		
(2)	福祉用具選定士認定研修(日本福祉用具供給協会)		年		
(3)	可搬型階段昇降機安全指導員研修(テクノエイド協会、介護実習・普及センター等)		年		
(4)	リフトリーダー養成研修(テクノエイド協会、リフトリーダー養成研修実施機関)		年		
(5)	福祉用具プランナー研修(テクノエイド協会、介護実習・普及センター、教育機関等)		年		
(6)	福祉用具プランナー管理指導者養成研修(テクノエイド協会、国際医療福祉大学大学院)		年		
(7)	車いす安全整備士(日本福祉用具評価センター)		年		
(8)	「個人情報保護」実践 e ラーニング研修(シルバーサービス振興会)		年		
(9)	介護保険にかかわる住宅改修事業者研修(シルバーサービス振興会、各地の振興組織)		年		
(10)	車いす SIG 講習会(日本リハビリテーション工学協会)		年		
(11)	車椅子・シーティング基準習会(日本車椅子シーティング協会)		年		
(12)	シーティングエンジニア養成講習会(日本車椅子シーティング協会)		年		
(13)	オムツフィッター研修1級・2級・3級(㈱はいせつ総合研究所)				
(14)	普及研修リーダー養成研修(全国福祉用具専門相談員協会)		年		
(15)	地域におけるケアマネジャーと福祉用具専門相談員合同研修		年		
(16)	訪問介護員と福祉用具専門相談員の連携研修(全国福祉用具専門相談員協会)		年		
(17)	訪問介護員養成研修2級課程(養成機関等)		年		
(18)	認知症サポーター養成講座(自治体等)		年		
【活動	こついて】				
(19)	福祉用具専門相談員実力ランキングテストへの参加		年		
(20)	福祉住環境コーディネーター1級(東京商工会議所)※合格した級に〇		年		
(21)	福祉住環境コーディネーター2級(東京商工会議所)※合格した級に〇		年		
(22)	福祉住環境コーディネーター3級(東京商工会議所)※合格した級に〇		年		
(23)	福祉用具メーカー等による商品説明会、展示会(HCR等)への参加		年		
(24)	研修等の講師		年		
(25)	学会への参加(「リハビリテーション工学」カンファレンス等)		年		
(26)	学会発表や雑誌などの執筆		年		

問6 問5に示した研修・活動以外に、福祉用具専門相談員としてのスキルアップのために参加したことがある(ただし途中離脱のものを除く)研修・活動があれば、以下の欄に名称、対象、実施主体、開催場所(都道府県)を記入してください。

#### 【留意点】

- ・過去5年以内に参加した研修・活動についてご回答ください。福祉用具専門相談員指定講習(40時間)は除きます。
- ・研修・活動の名称は、正式名称が分からない場合、略称でも結構です。
- ・対象は、福祉用具専門相談員を主な対象とした研修は「1.相談員」、福祉用具専門相談員に限らず介護職全般を対象とした研修は「2.介護職全般」を選択し、〇をつけてください。
- ・実施主体(法人種別)は、以下を参照して、当てはまるものに〇をつけてください。
  - 1.自治体等・・・自治体、地域包括支援センター、社会福祉協議会、地域の多職種の職能団体
  - 2.関係団体・・・介護実習・普及センター、福祉用具関係団体
  - 3.教育機関・・・教育・養成機関
  - 4.その他 ・・・上記以外

研修・活動の名称	対象	実施主体名	実施主体(法人種別)	都道府県
	1.相談員		1.自治体等 2.関係団体	
	2.介護職全般		3.教育機関 4.その他	
	1.相談員		1.自治体等 2.関係団体	
	2.介護職全般		3.教育機関 4.その他	
	1.相談員		1.自治体等 2.関係団体	
	2.介護職全般		3.教育機関 4.その他	
	1.相談員		1.自治体等 2.関係団体	
	2.介護職全般		3.教育機関 4.その他	
	1.相談員		1.自治体等 2.関係団体	
	2.介護職全般		3.教育機関 4.その他	

#### Ⅲ. 研修に関する期待や課題についてお伺いします。

問7福祉用具専門相談員の業務を行う上で、特にどのような知識・技術が重要だと感じていらっしゃいますか。(1)~(18)のそれぞれについて、当てはまるものを一つずつ選び、番号に○をつけてください。また、他に重要だと考える知識・技術があれば、(19)~(21)に記入してください。

	非常に重要	重要	一定必要	最低限
(1) 福祉用具専門相談員の倫理と法令順守	1	2	3	4
(2) 保健・医療・福祉の仕組み(介護保険制度等)	1	2	3	4
(3) 介護に関する基礎知識および介護技術	1	2	3	4
(4) 生活場面における福祉用具の利用	1	2	3	4
(5) 福祉用具の操作方法	1	2	3	4
(6) 福祉用具の選定相談(アセスメント)技術	1	2	3	4
(7) フィッティング技術	1	2	3	4
(8) コミュニケーション	1	2	3	4
(9) マナー・接遇	1	2	3	4
(10) 最新の商品知識	1	2	3	4
(11) サービス計画書の作成・運用	1	2	3	4
(12) 医学の基礎知識(身体構造・疾病・リハビリテーション等)	1	2	3	4
(13) 認知症への理解	1	2	3	4
(14) 多職種の連携のあり方	1	2	3	4
(15) 住環境に関する知識	1	2	3	4
(16) 苦情・事故処理の方法	1	2	3	4
(17) 虐待の防止と対応	1	2	3	4
(18) 医療機器に関する知識	1	2	3	4
(19) その他( )	1	2	3	4
(20) その他( )	1	2	3	4
(21) その他( )	1	2	3	4

問8 あなたは、福祉用具サービス計画書に関する研修(サービス計画書の様式や記入方法等)を受講したことがありますか。また、今後受講したいと思いますか。(1) ~(3) について当てはまるものを選び、番号に○をつけてください。

(1)受講経験 (一)選び()	1. 受講したことがある	2. 受講したことがない
(2)今後の受講意向 (一つ選び〇)	1. また受講したい/受講してみたい	2. 受講したいと思わない
	1. 身体状況や介護環境の記入方法	2. 利用目標の記入方法
(3)研修で取り上げてほしい内容 (すべて選び	3. 選定理由の記入方法	4. 利用上の留意点の記入方法
<u>a</u>	5. 計画書の説明の仕方	6. 計画書の活用の工夫
	7. その他(	)

問9 外部の研修を受講する上で、どのようなことを課題として感じていらっしゃいますか。当てはまるものをすべて選び、番号に〇をつけてください。

1.	時間を確保しにくい	2.	費用負担が大きい	3.	開催場所が遠い	4.	受講したい研修が無い
5.	研修情報を得にくい	6.	スキルアップに役立たないと	7.	必要性を感じない	8.	特に無し
			思う				
9.	その他(				)		

問 10 スキルアップに対する事業所としての支援に関して、今後実施してほしい、もしくは強化してほしい取り組みとして、当てはまるものを<u>すべて</u>選び、番号に〇をつけてください。

7.	事業所全体の研修の計画的な実施	8.	個人別研修の計画的な実施	9.	事例検討	
10.	他事業所(自法人以外)と共同での教育、研	11.	メーカー等による商品説明の機会の提供	12.	その他	
	修等の実施				(	)

# Ⅳ. お答えいただいた方の業務状況についてお伺いします。

問 11 福祉用具専門相談員としての業務年数 (数字を記入)	( )年							
問12 性別 ()選び()	1. 男性	1. 男性		2. 女性				
問13 年齢 (一つ選び())	1. 20代以下	2. 30代		3. 40代	4. 50代	5. 60代以上		
問 14 全国福祉用具専門相談員協会への入 会状況	1. 入会している	会している		\ \\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\				

以上で、設問は終わりです。お忙しい中、ご協力いただきまして、まことにありがとうございました。 調査票は同封の封筒(長4サイズ)に入れ、管理者の方にお渡しください。

<本件に関するお問合せ先>

(社全国福祉用具専門相談員協会 事務局 小野崎、柳田、永井、楓 TEL 03-3443-0011 (小野崎) FAX 03-3443-8800 onozaki.toru@zfssk.com(小野崎)

#### (2) 介護支援専門員アンケート調査票

#### 介護支援専門員向け福祉用具サービス計画書に関する web アンケート調査 調査票

#### アンケートの趣旨

このアンケートは、介護支援専門員の皆様に、福祉用具サービス計画書の運用状況やその導入効果についてのご意見をお伺いするものです。

福祉用具サービス計画書とは、利用者の心身の状況、希望およびその置かれている環境を踏まえ、指定福祉用具貸与(もしくは指定特定福祉用具販売)の目標、当該目標を達成するための具体的なサービスの内容等を記載するものです。

2012年4月から、福祉用具貸与事業所・指定福祉用具販売事業所には、利用者の状態に応じた福祉用具の選定と、介護支援専門員との連携を強化する目的で、利用者ごとに「福祉用具サービス計画」の作成が義務づけられました。1年間の経過措置期間が設けられており、平成25年3月31日までの間にすべての利用者に係る福祉用具サービス計画を作成する必要があります。



<福祉用具サービス計画書の参考画像>

アンケート調査は、全部で13問あり、所要時間はおよそ10分程度です。ご協力をお願いいたします。

# I. 福祉用具サービス計画書の運用状況について

現在担当している利用者のうち、福祉用具サービスを利用している利用者について以下の質問にお答えください。

- 問1 あなたはこれまでの業務の中で福祉用具サービス計画書を受け取っていますか。最も当てはまるものを1つお 選びください。
- 1. 9割以上の利用者について受け取っている
- 2. 7~9割未満の利用者について受け取っている
- 3. 5~7割未満の利用者について受け取っている
- 4. 3~5 割未満の利用者について受け取っている
- 5. 1~3割未満の利用者について受け取っている
- 6. 1割未満の利用者について受け取っている
- 7. 受け取ったことはない
- 問2 あなたが開催するサービス担当者会議において、福祉用具サービス計画書を資料として使用していますか。最 も当てはまるものを1つお選びください。
- 1. 9割以上の利用者について使用している
- 2. 7~9割未満の利用者について使用している
- 3. 5~7割未満の利用者について使用している
- 4. 3~5割未満の利用者について使用している
- 5. 1~3割未満の利用者について使用している
- 6. 1割未満の利用者について使用している
- 7. 使用したことはない
- 問3 サービス担当者会議において、福祉用具専門相談員から、福祉用具サービス計画書の内容の説明を受けていますか。最も当てはまるものを1つお選びください。
- 1. 9割以上の利用者について説明を受けている
- 2. 7~9割未満の利用者について説明を受けている
- 3. 5~7 割未満の利用者について説明を受けている
- 4. 3~5割未満の利用者について説明を受けている
- 5. 1~3 割未満の利用者について説明を受けている
- 6. 1割未満の利用者について説明を受けている
- 7. 説明を受けたことはない
- 問4 あなたは、福祉用具の利用状況に関するモニタリング結果を記載した書面を受け取っていますか。最も当ては まるものを1つお選びください。
- 1. 9割以上の利用者について受け取っている
- 2. 7~9割未満の利用者について受け取っている
- 3. 5~7割未満の利用者について受け取っている
- 4. 3~5割未満の利用者について受け取っている
- 5. 1~3割未満の利用者について受け取っている
- 6. 1割未満の利用者について受け取っている
- 7. 受け取ったことはない

<参考画像>



#### Ⅱ. 福祉用具サービス計画書の導入効果について

問5	あなたは福祉用具サービス計画書が導入されたことで、どのような効果があったとお感じでしょうか。以下の記	選
	択肢の中から、当てはまるものをすべてお選びください。	

- 1. 利用者や家族が、福祉用具の使い方や利用上の留意点を理解しやすくなったように感じる
- 福祉用具を活用して、自分らしい生活を送ることに対する利用者の意欲が高まったように感じる
- 3. あなたや利用者にとって、福祉用具の利用目標や選定根拠が明確になったように感じる
- 4. あなたと福祉用具専門相談員との情報共有・コミュニケーションが行いやすくなったように感じる
- 5. 他のサービス事業者に対して、福祉用具の使い方や利用上の留意点を説明しやすくなったように感じる
- 6. サービス担当者会議等での福祉用具専門相談員の福祉用具に関する説明に納得感が高まったように感じる
- 7. 上記いずれの効果も感じていない

問6 前問でご回答頂いた以外に、あなたが福祉用具サービス計画書の導入効果について実感さ	れていることがあ
れば、ご自由にお書きください。	

# Ⅲ. 福祉用具サービス計画書に関する問題点・改善点について

問7 あなたは福祉用具専門相談員から受け取っている福祉用具サービス計画書について、どのような問題点や改善点があるとお感じでしょうか。以下の選択肢の中から、当てはまるものをすべてお選びください。

#### 【サービス計画書の記載内容に関する問題点・改善点】

- 1. 利用者の身体状況が十分に記載されていない
- 2. 利用者の住宅環境が十分に記載されていない
- 3. 福祉用具の利用目標が明確に記載されていない
- 4. 福祉用具の選定理由が明確に記載されていない
- 5. 福祉用具の利用上の留意点が明確に記載されていない

【サービス計画書の活用に関する問題点・改善点】

- 6. 福祉用具専門相談員から介護支援専門員等に対して共有がなされていない
- 7. サービス担当者会議等における、福祉用具専門相談員による計画書に関する説明が不十分である
- 8. 福祉用具専門相談員が、福祉用具サービス計画書に基づいて適切なモニタリングを実施出来ていない

問8	前問でご回答頂いた以外に、あなたが福祉用具サービス計画書に関する課題として実感されていることがあれ
	ば、ご自由にお書きください。

# Ⅳ. 福祉用具専門相談員との関係性について

問9 あなたが日ごろから業務を依頼する福祉用具貸与事業者の数はどのくらいですか。

およそ	社

	るものを1つお選びく	べださい。					
2. ま3. ま	話祉用具専門相談員が主作 かなたが福祉用具専門相記 かなたが主体となって選定 たの他	炎員と一緒に	選定することが多				
	↑護支援専門員の基本が あなたの介護支援専門		)業務経験年数	は何年	ですか。		
		およそ		年間			
問 12	あなたの保有資格につ	ついて、当つ	てはまるものをす	ナベてお	る選びください。		
	广護福祉士	2.		3.	社会福祉士	4.	准看護師
	栄養士(管理栄養士を含む この他( )	e) 6.	歯科衛生士	7.	保健師	8.	精神保健福祉士
		つ 、アゴロ田 =	との米リス のいて	せきて	ノよごよい、		
闰 13	あなたが現在担当して	. いる利用す <b>-</b>	雪の剱について	•	(/ZZV \ <u>`</u>		
				人			
		アンケー	ート調査は以上で	す。ご協	う力ありがとうございました。	)	
・性別			]				
・年齢			歳				
#1 76			///			_	
・勤務	地所在地(市・区まで)	L					

問 10 福祉用具を選定する際、福祉用具専門相談員とはどのような役割分担を行うことが多いですか。最も当てはま

111

以上

# 2. ふくせん版「福祉用具サービス計画書」「モニタリングシート」

# (1) ふくせん福祉用具サービス計画書

			,,,,,			.,.,.				,,,,,,			番号				
ふくせ	4. 2	山上		++-		フ =-	一面	ī 🏚	(1	本相	- 辛倍 /	作月	日				
/J. Y. L.	/U 11	# TILL //T	, <del>, ,</del>			<b>八</b> 百			(4	- 4 1	すで以	作月	诸				
フリガナ					性別		生年	月日		年齢	介護度			認足	定期間		
ご本人氏名				様		м-т-	s 4	年月	日						~		
住所										L		TEI	L				
支援事業	所											担当ケアマ	ドジャー				
ご相談に	内容	相談者	旨						ご本。	人との続柄		相	談日				
ケアマネ ジャーとの																	ネジャ <del>ー</del> 目談日
相談記録																	
身体物	犬況・A	DL	(	年		月 )	現在	<u>E</u> [	介	護環境							
身長		cm	体:				kg	g	ШΩ	サービス							
寝返り	_ つかま いでで	らな きる	何かに? ればでき	つかま きる		できなし	۸,	╝		用状況							
起き上がり	_ つかま <sup>_</sup> いでで	らな きる	何かにつ ればでき	つかま きる		できなし	۸,	╁		族構成/ 介護者							
立ち上がり			何かにつ ればでき	つかま きる		できなし	۸,			している							
歩行	_ つかま いでで	らな きる	何かにつ ればでき	つかま きる		できなし	۸,			祉用具							
移乗	□ 自立(介	・助なし) ロ	見守り等	Ŧ	□ 一部介	助口全	介助	1	障害日常生活自立度								
	□ できる	□ 自分の st	手で支 できる		支えてもi ればでき	らえ っ	できない		認知症	の日常生	活自立度						
 移動	□ 自立(介	助なし)ロ			□ 一部介		介助	11	特	記事項							
排泄	□ 自立(介	助なし)ロ	見守り等	Ť	□ 一部介	助口全	介助	1					<u> </u>		確言	忍できた	îl)
入浴	□ 自立(介	・助なし) ロ	見守り等	÷	□ 一部介	助口全	介助	11						3 —			
その他								1	今困っ	の気持ち ていること	<u>=,  </u>						
疾病										用具で期行 となど)	₹						
麻痺								11									
				字字	サーヒ	オス計	画				1				住環境	t .	
ご本人及びる 家族の生活/ 対する意向	=   🚉												戸建 集合 エレ	住宅 ベータ		階 ) · 有	□無)
総合的な 援助方針																	

*************					sta: 信	管理番号	
ふくせん 福祉用	具サービス	ス計	画書(利月	計画)	<u> </u>	作成日	
						作成者	
フリガナ		性別	生年月日	年齢	介護度		認定期間
ご本人氏名	様		M·T·S 年月	B			~
支援事業所	!		<u> </u>		3	担当ケアマネジ	· 47—
生活全般の解決すべき	課題・ニーズ						_
(福祉用具が必要					福祉用具	村用日本	漂
選定福祉用具(レンタル・	販売)	納入	予定日 :	月	E	1	
品目	単位数				選定理由		
機種(型式)					2.44		
1							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
留							
意							
項							
נֶע	以上、福祉用具 <sup>-</sup>	サービス	ス計画書に基づ	き、サービ	ス提供を行	います。	
ご本人・ご家族への説明・同意		年	月	3	同意署名	<u> </u>	即
法人名称:		(		営業所	担当者	(	
住 所:			ı	TEL:			FAX:

# (2) ふくせんモニタリングシート(訪問確認書)

ふくせ			前お記	回 話信 作	施実別の表示	た人	     ご本	引   年   人     年	□□ご家		PM □ □ 月 □ □ 他(□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	訪問		電話 日   )					
フリガナ						支援事	事業序							'	4	担当 アアマネジャ			
利用者氏名				様		介護度						認定其	期間			~			
利用目標																			
FI FI		祉用具(品目) 種(型式)		利用開	見始 日	ョ 使用		点	角		点検 結果				備	考			
1						-	なし あり				問題な 問題あ								
2						7	なし		斉し		問題な 問題あ	L							
3							なし		斉し		問題な	L							
4						_	<u>あり</u> なし				問題あ 問題な								
											問題あ 問題な	$\overline{}$							
5				1			あり		札		問題あ 問題な	_							
6							あり		ŧ.		問題あ	IJ							
7									未		問題な 問題あ	IJ							
8						5	なし_ あり				問題な 問題あ	_							
身体状況の変化 にお気持ちの変化	] <del>第</del> ] 不	なし 安定 はし あり						ご家	変化	の状況		な 安 定 不安定 あり							
Z L	] 7	下明			デチル	用者・	デタ				□ I	不明							
使いにくさ,使用 困ったこと	中に	□ なし □ 一部あり □ あり			<u> </u>	用有"	_ 豕.	<u> </u>	•0)	国で	<u> </u>								
ご利用者,ご家が希望など	族の	□ 満足 □ どちらとも言えな □ であみ	l)																
目標達成度		□ 達成 □ 一部達成 □ 未達成																	
今後の方針	·	□ 再説明		再アセ	スメン	<b>∠</b> ト □	訓調	整			□ 修理	里交換		変更提	案	見直必要	しの E性		なしあり
	専門	月相談員による	総合確認	の結果の	自由	記載)					以 F ₹	<b>制用後</b> π		訪問確証		電話確		番号:00	
													🗆		-   U	年		]	日
											事業所	f:						•	н
										-	 作成者	 †:							
											 住 所	:							
											連絡先	<del></del>							